

一般質問

町政を問う

「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

今回7名が質問し、
その要約を掲載しました。

金 長 秀 範 議員 …………… 7

1. 町内施設改修について
2. 学校設備について
3. 地域おこし協力隊について

綿 引 静 男 議員 …………… 8

1. 新しい公園について
2. 中学校部活動の地域移行について

飯 村 栄 議員 …………… 9

1. 土地開発条例の改正による効果について
2. カスタマーハラスメント防止条例について
3. 指定管理の審査について
4. 私道の寄附受け入れについて
5. 石塚、阿波山など市街地における町道未舗装区間の現状と今後について
6. 小学校校舎、体育館、常北公民館などの老朽化対策について

高 橋 裕 子 議員 …………… 10

1. 子育てしやすい町づくりについて
2. にほんご広場について

藤 咲 芙 美 子 議員 …………… 11

1. 地域医療について
2. 介護保険サービス事業への支援について
3. 会計年度任用職員の待遇改善を
4. A E D設置について

猿 田 正 純 議員 …………… 12

1. 常北中学校の新制服について
2. 自治会のあり方について
3. 新道の駅かつらの入札について
4. 旅費の支出について
5. 開発公社と指定管理について

加 藤 木 直 議員 …………… 13

1. 開発公社全般について
2. 新道の駅と農業政策について

☐次ページからの、顔写真横のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



一般質問の内容を分かりやすくお伝えするため、以下のアイコンを使用しています。



議員の質問



執行部の答弁



議員の意見・要望

かねなが
金長
ひでのり
秀範
議員



こちらから
動画が視聴できます

町内施設改修について

問 町内主要施設8ヶ所のうち、七会町民センター・常北保健福祉センター・コミュニティセンター城里・常北公民館・岩船地区分館・桂図書館の時代に適さない和式トイレ、自動水洗未対応の手洗い等の今後の改修・計画予定について伺う。

町長

答 2年程度で整備を完了したい。

問 今年度当初予算で可決済の、常北公民館と岩船地区分館のトイレ改修進捗状況は。

町長

答 常北公民館は来年度工事が出来るように、岩船地区分館は年度内に改修したい。

問 七会町民センター・コミュニティセンター一城里・常北公民館・岩船地区分館・桂図書館が防犯カメラ未設置。また、役場本庁舎・コミュニティセンター城里以外は、一部を除きWi-Fi未設置であり、今後の整備について伺う。

町長

答 遅くとも2年以内には、必要なところの設置や整備を終えたい。



▲コミュニティセンター城里の和式トイレ

学校設備について

問 小学生の学習用タブレット端末の利用年数、交換時期の目安。当町の電子黒板導入台数・普及率は。教育長には今後の方針など伺う。

教育委員会事務局長

答 タブレットの利用年数は5年。令和9年度に契約し、令和10年度から使用したい。電子黒板は沢山小学校に1台配置で、町の導入率は2%。

教育長

答 各学校からの要望を集約し優先的かつ総合的に判断し、予算要望を行っていく。

地域おこし協力隊について

問 古内茶生産組合員の減少による存続の危機、担い手や後継者問題。町としてどう取り組むのか伺う。

町長

答 緑茶以外の紅茶や粉末茶販売にも注力し、地域おこし協力隊を積極的に採用しお茶農家に育てたい。

問 島家住宅主屋の茅葺き屋根の劣化が激しい。今後どのように位置づけ活用し、維持管理していくのか。

町長

答 平成30年3月に飲食・宿泊ができる施設として整備する計画書を策定。今年度は主屋のトイレを水洗化する設計、来年度には屋根の葺き替えも実施できるよう準備する。

意 この直面する二つの問題を解決するため、公募段階から限定特化した採用を要望する。



▲島家住宅主屋の茅葺き屋根

新しい公園について

問 令和5年9月の定例議会において、常北中学校東側の残土処理場およびストックヤードの跡地を公園にしてはどうか、との提案に対して、町長は、町民および地域住民の意見を踏まえ良好な市街化の形成を図るために方針を検討すると答弁した。現在の状況は。

町長

答 町民に安らぎを与える場所にするために検討を続けてきた。本年度から跡地利用の計画策定および設計に着手した。

小学生以上が利用する遊具を設置したいが、ボール遊びがしやすいように遊具設置は少なめにしたい。役場前の公園と新しい公園をすみ分けして、それぞれの年代で快適に利用できるような整備、位置づけをしていきたい。

問 残土搬入終了後の新たな残土処理場について、どのように考えているのか。

町長

答 現在の場所の近くにあると、運搬費の縮減の観点から望ましい。土地購入費については来年度以降に予算を計上したい。

意 町の中心部で住民が憩える場所にするために、様々な観点から検討して、子どもたちにとってよりよい公園になることを期待する。



▲公園イメージパース 新道川沿い(石塚)



こちらから
動画が視聴できます



綿引
わたひびき

静男
しずお

議員

中学校部活動の地域移行について

問 中学校部活動の地域移行の取り組み状況は。

教育長

答 野球、サッカー、男女バスケットボール、男女ソフトテニス、剣道、吹奏楽の地域クラブが立ち上がっている。部活動に参加している生徒の7割(常北中115名、桂中50名)を超えており、学校の壁を乗り越え、仲良く活動を楽しんでいる。

問 地域移行が着実に達成しつつあると感じるが、今後の課題は。

教育長

答 休日に教師の協力を得ずに、早期にクラブ活動指導員だけによる自律的で本格的な活動になるよう調整を進めたい。好きなクラブで思う存分活動したい中学生の思いや夢の実現を支援しながら、保護者に過度な経済的負担を強いることがないように、運営経費の望ましい在り方について検討を進めたい。

意 日本人が長く培ってきた部活動は、先生と生徒の心の触れ合いを通して責任感や正義感や向上心など、人格の向上を図ることができる。そのよさを踏まえつつ、子どもたちの貴重な3年間で有意義になるような部活動の在り方を慎重に考えていく必要がある。



飯村



栄
議員



こちらから
動画が視聴できます

土地開発条例の改正の効果について

問 私の住む石塚七区を歩くと、あちこちで宅地造成が行われ、宅地の分譲や建て売り住宅の販売が行われている。開発開始から数年がたち、真新しい住宅が完成した通りを歩くと、どの家にも小さな子どもが住んでいる気配があり、開発行為が人口の減少の歯止めをかけ、石塚小学校の生徒数の確保に貢献していることが実感できる。

私は令和5年12月の議会の一般質問において、城里町の人口増加を図るため、土地開発条例の規制面積を緩和すべきであると主張した。その結果、令和6年3月に土地開発条例が改正され3,000㎡以下の開発行為について許可が不要になった。

そこで質問する。土地開発条例が改正された後の宅地開発や建て売り住宅の販売により、人口が何人増えたのか。さらに、今後の宅地分譲及び建て売り住宅の販売により、何人程度の人口増加が期待できるのか。

町長

答 宅地購入補助の実績がある新たな開発区域における人口の集計を行った。その区域に151人が居住しており、うち子どもが68人いた。条例の改正により促進された開発により、過去5年で約70人の子どもが移住してきたことは、小学校の児童数の維持に大きく寄与していると言える。今後も年間30人から40人の人口流入、子どもは15人から20人の流入が宅地開発により期待、推測できる。

問 開発で人口が増えるのは素晴らしいことだと思う。一方で、住宅の増加によって、ごみ捨てなど、何か問題が生じていないか。

町長

答 ごみ捨てができないなどの問題は起こっていないが、今後の課題としては、道路整備など快適な町づくりに協力をしていただける開発行為を推奨するような制度設計が今後の課題と考えている。

小学校校舎、体育館、常北公民館などの老朽化対策について

問 先日、沢山小学校を視察する機会があった。校舎も体育館も傷みがひどく雨漏りなどが深刻であることが分かった。修繕に多額の費用もかかり、また少子化のおり、統廃合を含めた検討を急ぎ、速やかに結論を出すべきだと思うが。

教育委員会事務局長

答 長寿命化計画に基づき、順次改修を行っている。

教育長

答 どのような状態になったら、小・中学校の再編や統廃合について、検討を開始するか、教育委員会としての判断の基準や指針となるものを想定しておくべきだということで、協議を始めている。

問 町長の考えは。

町長

答 住民の意向や審議会の議論などを踏まえて、改修、統廃合などの結論を出していきたい。



▲沢山小学校 (下阿野沢)

その他、次の質問がありました。

- ・カスタマーハラスメント防止条例について
- ・指定管理の審査について
- ・私道の寄附受け入れについて
- ・石塚、阿波山など市街地における町道未舗装区間の現状と今後について

子育てしやすい町づくりについて

問 子育て世代の移住者を増やすことを前提に質問する。子育て支援No.1を目指す中で、町独自の出生祝い金を第三子から10万円ではなく、第一子から支援してはどうか。

町長

答 国で学校給食無料化の話が進んでいる。当町が、そこに充てていた予算で他市町村と差別化を図っていきたい。

問 感染症など大流行している。働きながら子育てしている家庭が多いが、町内の病後児保育の現状を伺う。

町長

答 ななかいこども園で解熱後の未就学児を対象に開始した。11月には常北地区の方も利用している。

問 スタジイ広場の利用者から、小さい子が危なくて遊べない日があると相談を受けた。

町長

答 数年後に三角グラウンド付近に新しい公園が完成するまで、ルール作りに取り組む。

問 自転車で下校する中学生から、暗くて怖いと相談を受けた。防犯灯の現状について伺う。

町民課長

答 防犯灯総数は、2,649基となっている。令和4年度以降、39基増設している。

問 城里町の学力について伺う。

教育委員会事務局長

答 自主学習時間は全国平均より長いですが、結果に結びついていない現状である。

問 学力の底上げをしたいと考えるが、放課後児童クラブを利用して、長期休暇からでも希望者に学習サービスをしてはいかがか。

町長

答 各児童クラブの実態等を踏まえ、学力向上に向けた新たなサービスを検討していく。

意 城里が選ばれる町になるよう願う。



高橋 裕子
たかはし ゆうこ
議員



こちらから
動画が視聴できます

にほんご広場について

問 町内に国際交流を目的とした「にほんご広場」がある。日本語が話せない方に利用していただきたいが、なかなか利用者が増えない。

また、日本語を教えるには、適切な受講や資格取得などがある。現役を引退された方のボランティア団体である為、補助をお願いしたい。

町長

答 他市町村で補助の実態がある。活動計画と要望書を提出して頂きたい。

意 現在の茨城県において、農業・介護など外国人労働者は必要である。日本語を話すことが出来れば、意思疎通が取れ、孤独・孤立を感じず生活できるのではないか。



▲にほんご広場の様子

常北中学校の新制服について

問 常北中の新制服選定の経緯について伺う。

教育委員会事務局長

答 常北中学校学校運営協議会において、生徒・保護者から要望があった暑さ対策や多様性に対応するため、制服の見直しについて検討すると決議され、以降保護者アンケートを取り、検討を重ねて総意で決定された。

意 この途中から町長がユニクロの制服を町から支給するなど、話を持ち掛けた経緯がある。学校教育に政治は口を出さない様にとお達しが来ているはず。

自治会のあり方について

問 自治会の必要性とは。

町長

答 いざ災害があった時は役立つ。

意 自治会を継続的に活動するならば、時代の変化に対応した改革が求められている。転入者の方々にも住みよい町にして欲しい。

新道の駅かつらの入札について

問 何故、入札差金^{*}を使う気になったのか。
^{*}予定価格と落札価格との差額のこと

町長

答 思い付きでは無く、地方自治法に則り、国県とも相談して、執行の準備を進めている。

意 入札すれば差金が出るのは当たりまえ。

意 令和6年3月の全協時に小坪議員の質問に対し「そういった当初見込んでいないものを入札差金で使っちゃうとか、そういう事はしませんので」と答弁している。当時は差金を使わない考えが、今は変わった。通常は減額修正で処理する、また差金は原則凍結している自治体も多い。積極的に差金を使う自治体は少ない。財政的に厳しくなっているということか。



猿田 正純 議員



こちらから動画が視聴できます

旅費の支出について

問 本年9月2～3日の1泊2日の出張は何処へ。

町長

答 高島礼子さん主演の歌舞伎に招待を頂き、大阪に行った。町の観光大使であり、町長として行った。

意 町長は公務だからと言って、旅費と日当2日分を請求された。私が町長の立場なら、道義上自腹で行く。道義上どうなのか町民の方々に判断していただく。

開発公社と指定管理について

問 指定管理者の公募で、他企業の公募があったにも関わらず書類選考で却下し、開発公社のみ受け付けるとは如何なものか。

町長

答 開発公社は選考委員会によって認められた。

意 公募要項に、七会町民センターブランドの芝管理の条件に「Jリーグ仕様の芝の管理を3年継続して行っている事」と明記されているのは、開発公社以外何処の企業も入り込める余地はない。最初から開発公社ありきで見かけだけの公募をし、選考委員会に採点までさせて、選考委員会に認められた開発公社だという事実認定だけさせる。「委員会に認められた開発公社だから」と今後5年間委員会の委員は言われ続ける。また町長と開発公社の代表理事が同じ人物であり、弊害が多い。代表理事は降りるべきだ。

加藤木

直
議員



こちらから
動画が視聴できます

開発公社について

問 開発公社は厳しい経営環境にあり、令和6年度より大規模な経営改善を行っているという。人員削減は最終的なものであり、どのような業務改善をされたのか伺う。

町長

答 採算性を分析。原価率の徹底や価格の変更を行った。また、売店専属の2名は、経費に対し利益と釣り合っていないので雇用の継続を行わなかった。最終的に2,600万の収支改善となった。

意 ホールの湯は、令和6年度決算+40万の収支だ。前年までの累積赤字1,200万、ふれあいの里の剰余金を振替収入1,700万で残高500万とし、どうにか体裁を保っているが本当に大規模改善されたのか疑問だ。一番根っこの部分を徹底的に改善すべきだ。

公用車の貸出し

問 公社に公用車を数台貸していると聞かすが、賃貸借の内容を伺う。

財務課長

答 10台を貸与している。維持経費全て公社負担だ。

問 普通財産である車両の利用料金はいくらか。

財務課長

答 町条例の規定により減免無料となっている。

問 町長が理事長をしている。利益相反ではないか。町民が納得するのか。

財務課長

答 公共的団体が使用するときは減免出来るものとなっている。妥当だ。

副町長

答 公社のために何か利益を供与したものではないと考えている。

意 納得できない。無償貸し付けは公有財産の私的な利用であり、明確な条例上の根拠と合理的な行政目的が不可欠だ。

グランドゴルフ場にトイレを

問 2人の議員が町民の強い要望を受け一般質問をして設計まで完成した。簡易なもので良いと言っているのになぜ出来ないのか。

町長

答 建物近くに2コース楽しめる。遠いコースは今後の課題としたい。

意 女性の方は、困っている。高齢者への優しさを願う。



新道の駅と農業政策について

問 来春オープンする新道の駅を農業政策の実践の場と位置づけて、農家所得の向上や後継者育成の仕組みをどう構築するのか伺う。

町長

答 手数料などを減免し小規模農家を応援する。大農家に対しては、集荷組織をつくり、良質な農産物を集荷して並べる形も検討したい。手数料を安くし、農家所得を向上させていきたい。